

**A群
初代ボス猿***
日本で初めて「ボス猿」と呼ばれたのが
ジュピター。

*現在の呼び名は「アオス」
ジュピター
JUPITER

開園10周年を記念して、
大分県出身の彫刻家
朝倉文夫によって制作
されたジュピター像

サル寄せ場に上がる
階段の横にいるよ!

芋が目の前に
転がってきたときは
正直、嬉しかったぜ。



高崎山自然動物園は
こうして生まれた

1952年、当時の大分市長の
上田保氏が、高崎山周辺の農作物
に被害を及ぼしていたサルを一か所
に集めて観光資源にできないかと、
餌付け用にリンゴを用意し、ホラ貝
を鳴らして試みました。しかし、結
果は失敗。なかなかうまくいきませ
んでした。

そんな中、高崎山の麓にある万
寿寺別院の大西和尚が、餌をリン
ゴからさつま芋にすることを提案。
餌を変えて試してみたところ、そ
れまで人間を警戒していたサルた
ちが少しずつ餌を食べるようにな
り、1953年3月、高崎山自然動
物園は開園しました。

映画にもなりました!

映画「ただいま零匹」の
ワンシーンより(1957年)



大分市が誇る観光スポット サルと豊かな自然が いっぱい、高崎山



大分市と別府市の境にある高崎山。青々とした山の中腹にある高崎山自然動物園は、間近で野生のサルを見ることができる国内でも珍しい観光スポットです。今回は、大分市が誇る高崎山の魅力やさまざまな楽しみ方を紹介します。



ようこそ

こんにちは、
高崎山です。

はじめまして

何年ぶり?

お久しぶりです

MEMO

- 標高 628 メートル
- 面積 330 ヘクタール
- 釣り鐘のような形をした山



乗り心地も景色もいーやろ~!

さるっこレール

往復 100円 (片道のみでも100円)

高崎山自然動物園のチケット売り場から、サル寄せ場までをつなぐさるっこレール。外の景色を楽しみながら、あっという間にサル寄せ場に到着。レールのすぐ側でくつろぐサルたちも見るができます! サル寄せ場へは、坂と階段で向かうコースもありますよ。



サル寄せ場へは、
歩いていくもよし、
さるっこレールに
乗るもよし。

GO! GO!

